

# 日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

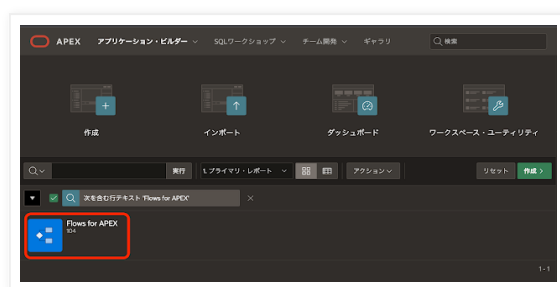
2022年12月16日 金曜日

## Flows for APEXによる休暇申請フローの作成(2) - フロー・モデルの作成

Flows for APEXが提供しているワークフローのモデラーを使用して、休暇申請のフロー・モデルを作成します。

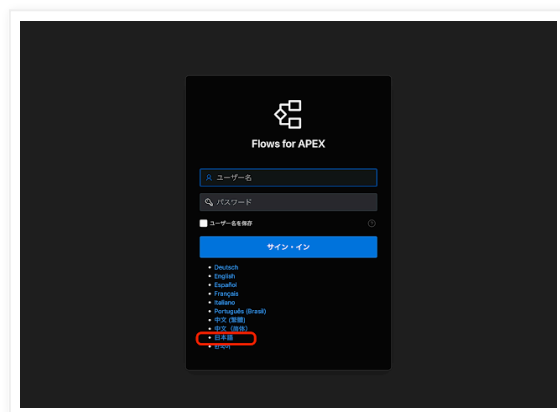
### 休暇申請のフロー・モデルの作成

ワークスペースにインストールされたアプリケーションFlows for APEXを実行します。

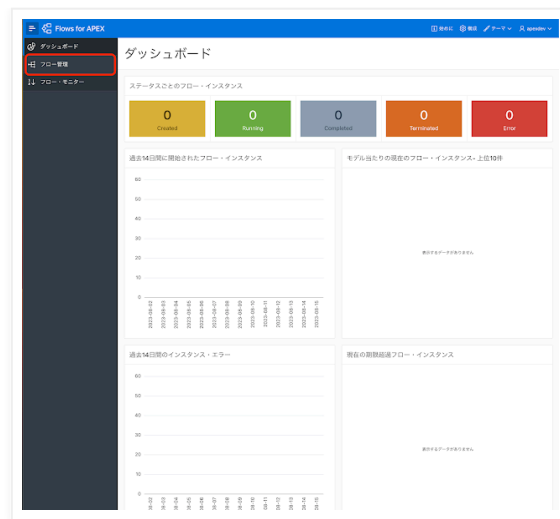


APEXワークスペースのサインインに使用したユーザー名、パスワードにてFlows for APEXのアプリケーションにサインインします。

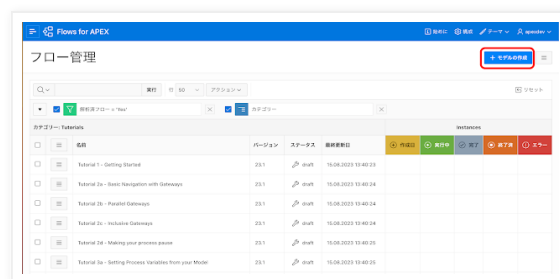
Flows for APEX 22.2より言語として日本語を選択できます。



アプリケーションにサインインすると、利用状況を表示するダッシュボードのページが表示されます。フロー・モデルの作成や編集をするには、フロー管理を開きます。

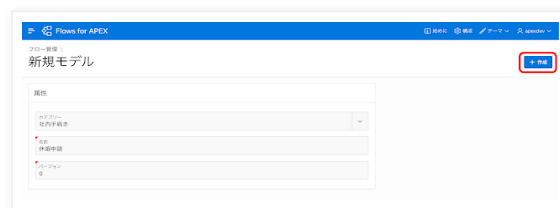


フロー・モデルの管理画面が開きます。新規にフロー・モデルを作成するには、右上の**モデルの作成**をクリックします。

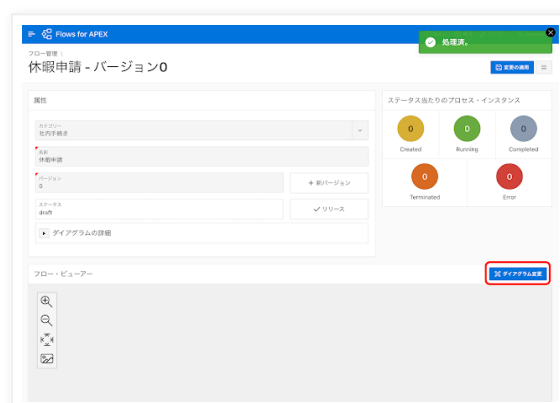


新規に作成するモデルの属性の**カテゴリー**は**社内手続き**とします。モデルの**名前**は**休暇申請**、**バージョン**は**0**を指定します。**カテゴリー**は単に表示の際に使用される分類なので、任意の名前を設定できます。**名前**と**バージョン**はAPEXアプリケーションで使用します。

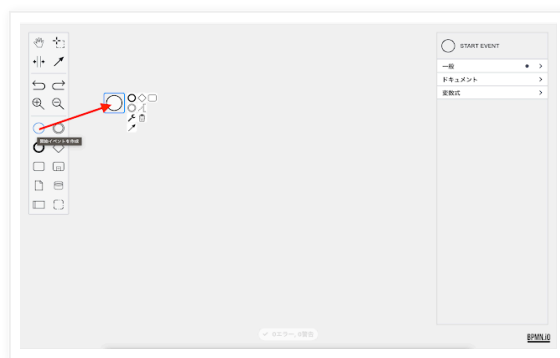
**作成**をクリックします。



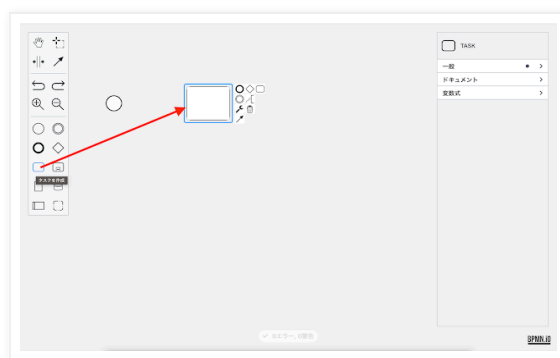
新規にフロー・モデルが作成されます。**ダイアグラム変更**をクリックし、フロー・ダイアグラムの編集を行います。



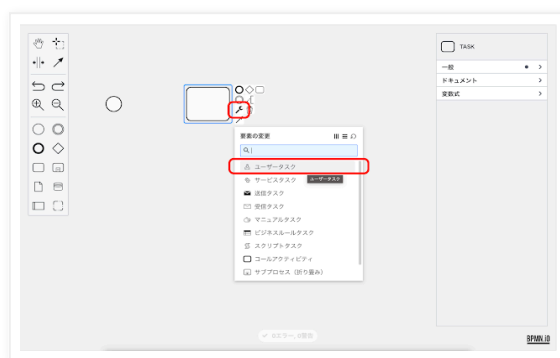
パレットにある**開始イベント**をキャンパスにドラッグ&ドロップします。**開始イベント**がフローの起点になります。パレット上の**開始イベント**をクリックして選択し、キャンパスの任意の位置をクリックして配置することもできます。



**開始イベント**の右隣に**タスク**を配置します。

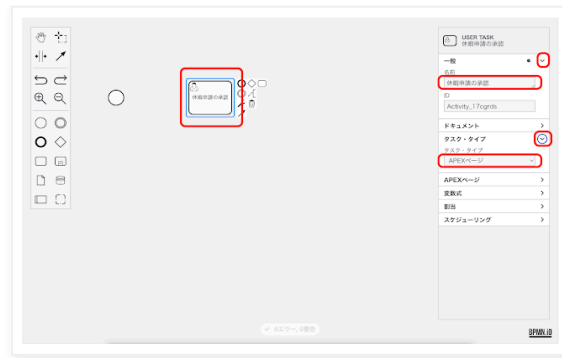


**タスク**の**スパナ・アイコン**をクリックし、**タスクのタイプ**を**ユーザータスク**に変更します。**ユーザータスク**はAPEXアプリケーションへのリンクであり、APEXのページ上でユーザーが操作を行なうことを要求します。



タスクの属性を設定します。**一般**のグループを開き、**名前**を**休暇申請の承認**とします。**タスク・タイプ**のグループを開き、**タスク・タイプ**として**APEXページ**を選択します。

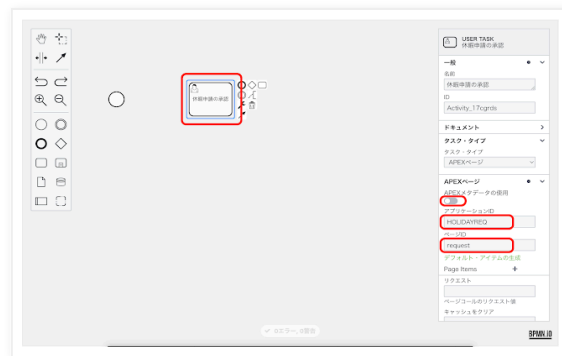
**タスク・タイプ**として**APEXページ**または**APEXの承認**を選択できます。**APEXページ**はAPEXアプリケーションの**ページでの操作**がタスクになります。**APEXの承認**はAPEX 22.1から新規に提供されている**承認コンポーネント**での操作がタスクになります。



ユーザータスクとして呼び出すAPEXページを設定します。

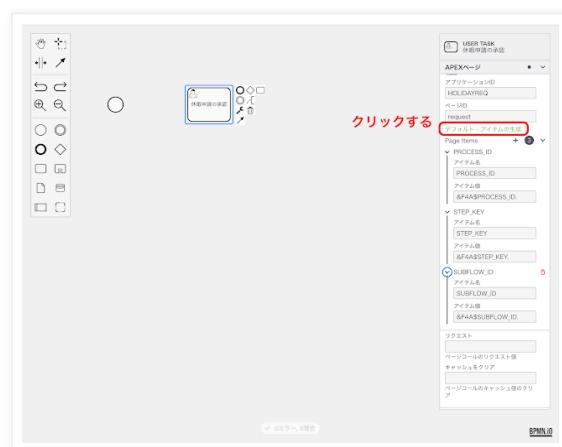
APEXページのグループを開きます。まだAPEXアプリケーションは作成していないため、APEXメタデータの使用はオフにします。

アプリケーションIDはHOLIDAYREQ、ページIDはrequestとします。これらはAPEXのアプリケーションを作成するときに、アプリケーションの別名およびページの別名として指定します。



Page Itemsを設定します。最初にデフォルト・アイテムの作成をクリックします。アイテム名PROCESS\_IDとアイテム値&F4A\$PROCESS\_ID.のペア、SUBFLOW\_IDと&F4A\$SUBFLOW\_ID.、STEP\_KEYと&F4A\$STEP\_KEY.のペアが作成されます。

F4A\$で始まるアイテム（置換文字列として指定されているため&と.で囲まれています）は、Flows for APEX（F4A）によって予約されているアイテムになります。



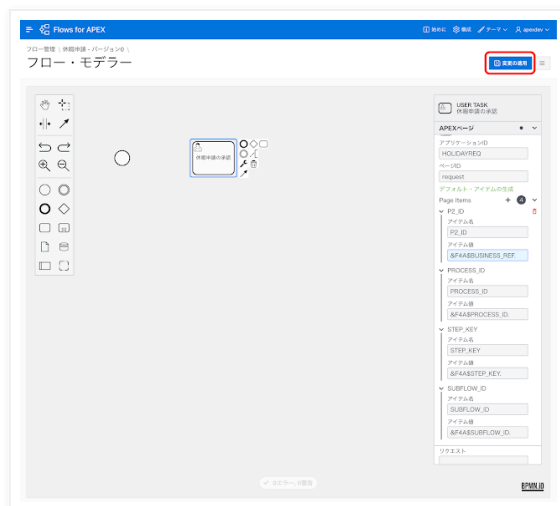
Page Items横の+（プラス）サインをクリックし、ページ・アイテムの設定を追加します。

アイテム名にP2\_ID、アイテム値として&F4A\$BUSINESS\_REF.を指定します。  
&F4A\$BUSINESS\_REF.にはフロー・モデルから生成されるプロセス・インスタンスを特定するキー

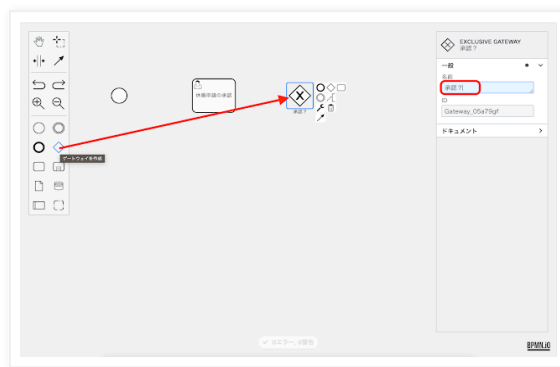
となる値を設定します。一般にこれは表の主キーの値になります。ページ・アイテムP2\_IDには、フォームで操作する表の主キーの値が設定されます。



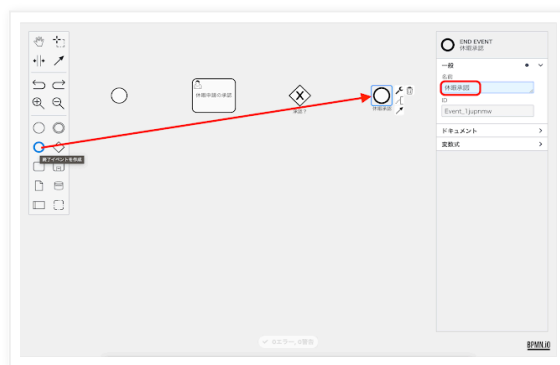
変更の適用をクリックすると、今まで行った変更がデータベースに保存されます。



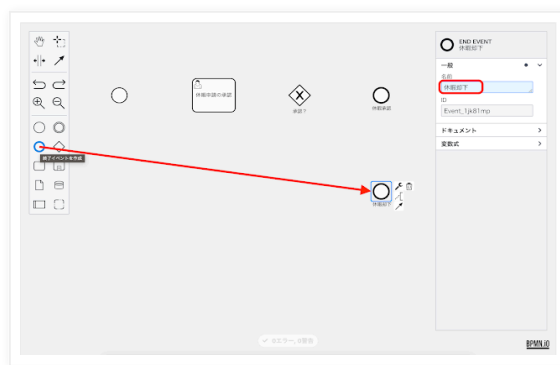
パレットからゲートウェイを選択し、タスク休暇申請の承認の右隣に配置します。名前は承認？とします。



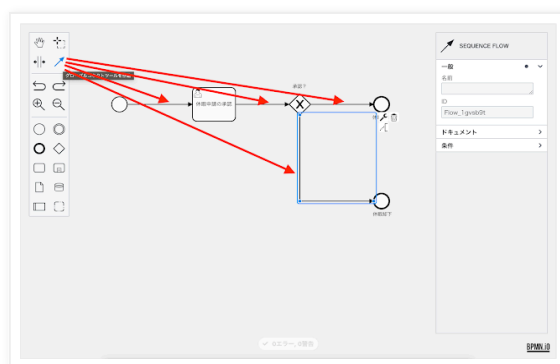
パレットから終了イベントを選択し、ゲートウェイ承認？の右隣に配置します。名前は休暇承認とします。



再度パレットから**終了イベント**を選択し、先ほど作成した終了イベント**休暇承認**の下に配置します。名前は**休暇却下**とします。



今まで配置した要素を**シーケンスフロー**で接続します。**グローバルコネクトツール**をクリックした後、**始点**と**終点**となる要素を続けてクリックし、それぞれの要素を接続します。

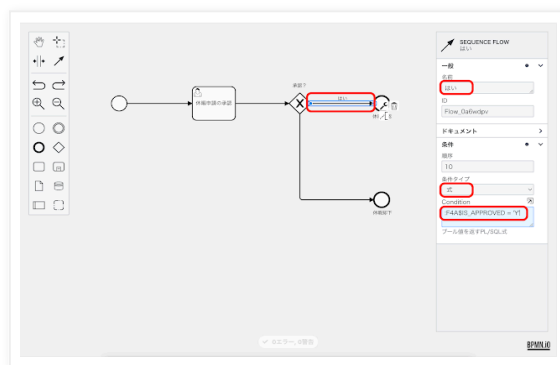


ゲートウェイ**承認?**から終了イベント**休暇承認**への**シーケンスフロー**を選択します。名前は**はい**とします。

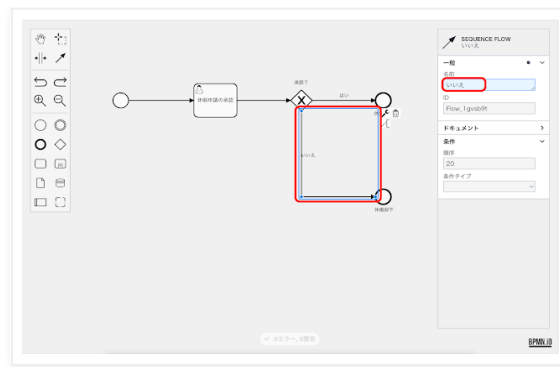
条件の**条件タイプ**として**式**を選択し、**条件**として以下を設定します。

**:F4A\$IS\_APPROVED = 'Y'**

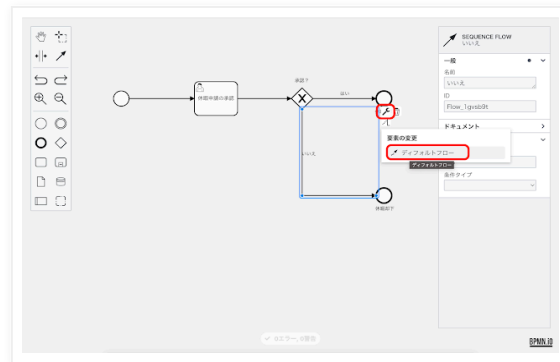
ゲートウェイ**承認?**にフローが進んだ時点で、**プロセス変数**の**IS\_APPROVED**が**Y**だったときに、この**シーケンスフロー**が選択されます。



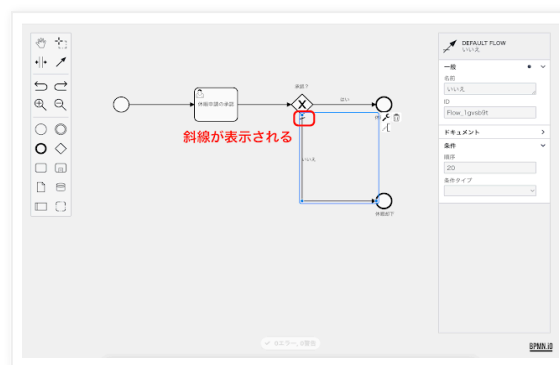
ゲートウェイ**承認?**から終了イベント**休暇却下**への**シーケンスフロー**を選択します。名前は**いいえ**とします。



表示されているスパナ・アイコンをクリックし、**デフォルトフロー**を選択します。



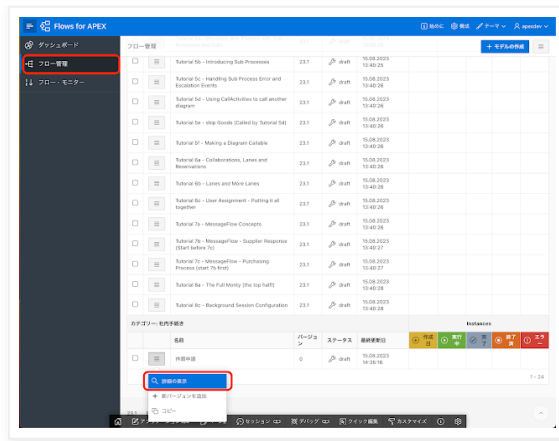
デフォルトのフローには斜線が表示されます。



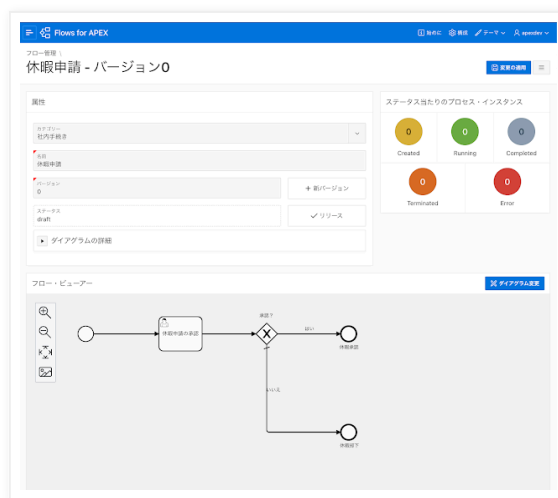
終了イベント**休暇承認**へのフローが選択される条件（F4A\$IS\_APPROVED = 'Y'）に一致しないときは、すべて終了イベント**休暇却下**に遷移します。

以上でフロー・ダイアグラムは完成です。**変更の適用**をクリックします。

**フロー管理**から**休暇承認**のバージョン0を開きます。



作成したフロー・ダイアグラムが表示されることが確認できます。



以上で、休暇申請のフロー・モデルが作成できました。

続く

Yuji N. 時刻: 17:31

共有



ホーム



ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.